

令和5年（2023年）11月28日（火曜日）

第 1 号



令和5年第4回北海道議会定例会会議録

第1号

令和5年（2023年）11月28日（火曜日）

議事日程 第1号

11月28日午前10時開議

日程第1、会議録署名議員の指定

日程第2、会期決定の件

日程第3、議案第1号ないし第18号

日程第4、前会より継続審査の報告第1号ないし  
第6号

日程第5、意見案第1号

日程第6、請願第11号

○本日の会議に付した案件

1. 日程第1から日程第6

1. 請願の産炭地域振興・エネルギー調査特別  
委員会付託

1. 休会の決定

出席議員（99人）

議長 100番 富原 亮 君

副議長 81番 稲村 久男 君

1番 山崎 真由美 君

2番 石川 さわ子 君

3番 小林 千代美 君

4番 清水 敬弘 君

5番 板谷 よしひさ 君

6番 今津 寛史 君

7番 木下 雅之 君

8番 黒田 栄継 君

9番 小林 雄志 君

10番 高田 真次 君

11番 武市 尚子 君

12番 千葉 真裕 君

13番 角田 一 君

14番 鶴羽 芳代子 君

15番 戸田 安彦 君

16番 早坂 貴敏 君

17番 藤井 辰吉 君

18番 前田 一男 君

19番 水間 健太 君

20番 和田 敬太 君

21番 鈴木 仁志 君

22番 田中 勝一 君

23番 鶴間 秀典 君

24番 海野 真樹 君

25番 丸山 はるみ 君

26番 中村 守 君

27番 寺島 信寿 君

28番 水口 典一 君

29番 川澄 宗之介 君

30番 木葉 淳 君

31番 小泉 真志 君

32番 鈴木 一磨 君

33番 武田 浩光 君

34番 渕上 綾子 君

35番 宮崎 アカネ 君

36番 山根 まさひろ 君

37番 植村 真美 君

38番 佐々木 大介 君

39番 滝口 直人 君

40番 林 祐作 君

41番 檜垣 尚子 君

42番	宮下准一君	77番	池本柳次君
43番	村田光成君	78番	滝口信喜君
44番	渡邊靖司君	79番	松山丈史君
45番	浅野貴博君	82番	梶谷大志君
46番	安住太伸君	83番	北口雄幸君
47番	内田尊之君	84番	広田まゆみ君
48番	大越農子君	85番	高橋亨君
49番	太田憲之君	86番	平出陽子君
50番	加藤貴弘君	87番	花崎勝君
51番	桐木茂雄君	88番	三好雅君
52番	久保秋雄太君	89番	村木中君
53番	佐藤禎洋君	90番	吉田祐樹君
54番	清水拓也君	91番	田中芳憲君
55番	千葉英也君	92番	松浦宗信君
56番	道見泰憲君	93番	中司哲雄君
57番	船橋賢二君	94番	藤沢澄雄君
58番	丸岩浩二君	95番	村田憲俊君
59番	笠井龍司君	96番	吉田正人君
60番	中野秀敏君	97番	喜多龍一君
61番	池端英昭君	98番	伊藤条一君
62番	菅原和忠君	99番	高橋文明君
63番	中川浩利君	欠席議員（1人）	
64番	畠山みのり君	80番	市橋修治君
65番	沖田清志君		
66番	笹田浩君	出席説明員	
67番	白川祥二君	知事	鈴木直道君
68番	新沼透君	副知事	浦本元人君
69番	阿知良寛美君	同	土屋俊亮君
70番	田中英樹君	同	濱坂真一君
71番	中野渡志穂君	公営企業管理者	天沼宇雄君
72番	真下紀子君	病院事業管理者	鈴木信寛君
73番	荒当聖吾君	総務部長 兼北方領土対策 本部長	山本倫彦君
74番	森成之君	総務部職員監	谷内浩史君
75番	赤根広介君	総務部危機管理監	古岡昇君
76番	佐藤伸弥君		

総合政策部長	三橋 剛 君	教育委員会教育長	倉本博史 君
総合政策部 次世代社会戦略監	水口伸生 君	教育部長 兼教育職員監	北村英則 君
総合政策部 地域振興監	菅原裕之 君	学校教育監	山本純史 君
総合政策部 交通企画監	宇野稔弘 君	総務課長	岡内 誠 君
環境生活部長	加納孝之 君	選挙管理委員会 事務局 長	上田哲史 君
環境生活部 アイヌ政策監	相田俊一 君	人事委員会 事務局 長	佐藤則子 君
保健福祉部長	道場 満 君	警察本部長	鈴木信弘 君
保健福祉部 感染症対策監	佐賀井裕一 君	総務部長	尾辻英一 君
保健福祉部 子ども応援社会 推進 監	野澤めぐみ 君	総務部参事官 兼総務課長	鈴木直人 君
経済部長	中島俊明 君	労働委員会 事務局 長	田辺きよみ 君
経済部観光振興監	榎 信彦 君	代表監査委員	深瀬 聡 君
経済部食産業振興監	仲野克彦 君	監査委員事務局長	佐藤隆久 君
経済部 ゼロカーボン推進監	今井太志 君	収用委員会 事務局 長	表谷吉恭 君
農政部長	水戸部 裕 君	議会事務局職員出席者	
農政部 食の安全推進監	野崎直人 君	事務局 長	佐々木 徹 君
水産林務部長	山口修司 君	議事課 長	本間 治 君
建設部長	白石俊哉 君	議事課長補佐	松村伸彦 君
建設部建築企画監	細谷俊人 君	議事係 長	小倉拓也 君
会計管理者 兼出納局長	森 隆 司 君	議事課 主任	古賀勝明 君
企業局長	辻井宏文 君	同	成田将幸 君
道立病院部長	岡本收司 君		
財政局長	木村敏康 君		
財政課長	松林直邦 君		

午前10時1分開会

## 1. 開 会

○議長富原亮君 これより、本日をもって招集されました令和5年第4回定例会を開会いたします

す。

直ちに本日の会議を開きます。

#### 1. 日程第1、会議録署名議員の指定

○議長富原亮君 日程第1、会議録署名議員の指定を行います。

会議録署名議員には、会議規則第124条の規定により、

植村真美君  
佐々木大介君  
滝口直人君  
林祐作君  
檜垣尚子君  
宮下准一君  
村田光成君  
渡邊靖司君  
浅野貴博君  
安住太伸君  
内田尊之君  
大越農子君

以上、12人の諸君を指定いたします。

#### 1. 諸般の報告

○議長富原亮君 諸般の報告をさせます。

---

〔本間議事課長朗読〕

1. 知事から、議案第1号ないし第18号及び報告第1号ないし第6号の提出がありました。

---

議案第1号 令和5年度北海道一般会計補正予算（第4号）

議案第2号 令和5年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第2号）

議案第3号 令和5年度北海道病院事業会計補正予算（第1号）

議案第4号 地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案

議案第5号 北海道環境生活部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案

議案第6号 北海道控除対象特定非営利活動法人等を定める条例の一部を改正する条例案

議案第7号 北海道経済部手数料条例の一部を改正する条例案

議案第8号 北海道農政部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案

議案第9号 北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案

議案第10号 北海道知事等の給与等に関する条例の一部を改正する条例案

議案第11号 北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案

- 議案第 12 号 北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案  
議案第 13 号 市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案  
議案第 14 号 北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案  
議案第 15 号 国営造成施設管理事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件  
議案第 16 号 宝くじの発売に関する件  
議案第 17 号 北海道公立大学法人札幌医科大学の定款の変更に関する件  
議案第 18 号 工事請負契約の締結に関する件  
報告第 1 号 令和5年度北海道地方競馬特別会計に係る弾力条項の適用報告の件  
報告第 2 号 専決処分報告の件  
報告第 3 号 専決処分報告の件  
報告第 4 号 専決処分報告の件  
報告第 5 号 専決処分報告の件  
報告第 6 号 専決処分報告の件

（上の議案及び報告は巻末**議案の部**に掲載する）

---

1. 議員から、意見案第1号の提出がありました。
- 

意見案第1号 防災・減災、国土強靱化対策のさらなる推進を求める意見書  
（上の意見案は巻末**意見案の部**に掲載する）

---

1. 決算特別委員長から、前会より継続審査の報告第1号ないし第6号について審査結果の報告がありました。

（上の委員会審査報告書は巻末**議案の部**に掲載する）

---

1. 各関係執行機関の長から、説明員の委任について通知がありました。  
（上の説明員の委任通知は巻末**その他**に掲載する）
- 

1. 知事から、政策評価の結果に関する報告がありました。
- 

1. 監査委員から、例月出納検査の結果について報告がありました。
- 

1. 議長は、議案第4号、第9号及び第11号ないし第14号について人事委員会委員長に、議案第4号について監査委員に、それぞれ意見を求めました。
-

1. 本日の会議録署名議員は、

植村真美議員

佐々木大介議員

滝口直人議員

であります。

## 1. 議長の報告

○議長富原亮君 この際、御報告いたします。

元議員岩田徳弥さんは、去る10月11日、同じく、工藤敏郎さんは、11月15日、同じく、岩本允さんは、11月23日、逝去されました。

誠に痛惜哀悼の念に堪えません。

よって、議長において謹んで弔意を表しました。

以上御報告いたします。

### 1. 日程第2、会期決定の件

○議長富原亮君 日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から12月14日までの17日間といたしたいと思っております。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長富原亮君 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

### 1. 日程第3、議案第1号ないし第18号

○議長富原亮君 日程第3、議案第1号ないし第18号を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

知事鈴木直道君。

#### 1. 議案第1号ないし第18号に関する説明

○知事鈴木直道君（登壇）ただいま議題となりました令和5年度補正予算並びにその他の案件について、その大要を御説明申し上げます。

まず、議案第1号ないし第3号の補正予算は、当面措置を要する経費並びに道職員等の給与改定に伴う経費について、所要の予算措置を講じようとするものであり、その総額は、

一般会計	107億9100万円
特別会計	2億3100万円
合計	110億2200万円

となっております。

以下、歳出予算の主なものについて申し上げます。

初めに、人里への出没が増加しているヒグマの防除対策を強化するため、市町村が行う春期管理捕獲の実施に要する経費に対して支援することとし、所要の予算措置を講じることといたしました。

次に、本年発生した大雨災害などにより被災した施設の早期復旧等を図るため、

土木施設、耕地などの災害復旧事業費	10億5100万円
災害関連事業費	2400万円

を計上したほか、公共事業の端境期における効率的な執行を確保するため、道の単独事業について前倒しで実施することとし、

道路、河川などの特別対策事業費	17億5100万円
公共関連単独事業費	8億8100万円

を計上するとともに、所要の債務負担行為を含め、総額65億円を措置することといたしました。

また、ラピダス社が建設する次世代半導体工場への工業用水の供給に必要な配水施設を設置するため、所要の債務負担行為を設定いたしました。

このほか、道職員等の給与費について、本年度の人事委員会勧告等を踏まえ、所要の措置を講じることとし、総額62億3200万円を計上いたしました。

これらに見合う一般会計の歳入予算の主なものといたしましては、

国庫支出金	11億5500万円
繰入金	25億9400万円
道債	23億3600万円
繰越金	44億3400万円

を計上いたしました。

次に、その他の案件の主なものについて申し上げます。

まず、議案第6号は、個人の道民税の寄附金税額控除の対象となる特定非営利活動法人について、控除対象期間を更新しようとするものであり、

議案第7号は、高圧ガス保安法の改正に鑑み、貯蔵施設等完成検査手数料等について減額する対象を追加しようとするものであり、

議案第9号は、北海道地方警察職員の特殊勤務手当について、警衛警護手当及び遠隔地水上警戒業務手当の額を改定しようとするものであります。

次に、議案第10号は、北海道特別職報酬等審議会の知事に対する答申に鑑み、知事等の期末手当を増額しようとするものであり、

議案第11号ないし第14号は、北海道職員等の給料月額及び勤勉手当等の額を改定しようとするものであります。

次に、議案第17号は、公立大学法人札幌医科大学における年度計画の廃止に関連する定款の変更について、地方独立行政法人法の規定により議決を得ようとするものであり、

議案第18号は、道路改築工事の工事請負契約を締結することについて、議会の議決に付すべき

契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により議決を得ようとするものであります。

以上、今回提案いたしました案件の主なものについて、その大要を御説明申し上げます。

よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

#### 1. 日程第4、前会より継続審査の報告第1号ないし第6号

○議長富原亮君 日程第4、前会より継続審査の報告第1号ないし第6号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。

決算特別委員長三好雅君。

#### 1. 前会より継続審査の報告第1号ないし第6号に関する報告

○88番三好雅君（登壇・拍手）私は、ただいま議題となりました令和5年第3回定例会から継続審査の報告第1号令和4年度北海道一般会計及び特別会計歳入歳出決算に関する件、並びに、報告第2号ないし第6号令和4年度北海道各事業会計決算に関する件の6件に関し、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、第3回定例会開会中の9月27日に設置され、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果、各事業会計決算審査については本委員会において、一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査については分科会方式により行うこととし、直ちに2分科会を設置し、各分科会において正・副委員長の互選を行った次第でございます。

その後、10月5日の委員会において、理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見について、それぞれ説明を聴取し、本件を閉会中継続審査の扱いとすることに決定いたしました。

その後、一般会計及び特別会計審査に必要な19項目、各事業会計審査に必要な25項目の資料の提出を受け、決算内容の審査に入った次第であります。

次いで、11月9日に各事業会計に係る関係所管部局の審査を行い、同日、報告第2号ないし第6号に関する一切の質疑を終結した次第であります。

また、11月10日からは、各分科会において報告第1号に関わる各所管部の審査に入り、11月14日をもって、総括質疑に保留された事項を除き、各分科会における質疑を終了し、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

なお、各事業会計に関する本委員会審査並びに一般会計及び特別会計に関する各分科会審査の質疑において論議の対象となりました主な事項につきましては、配付の審査概要により御承知願いたいと思います。

各分科会において質疑保留となった事項、

知事の地域訪問等

委託契約

江差高等看護学院

北海道立総合研究機構

## 観光政策

などに関し、本委員会において、11月15日に総括質疑を行い、付託議案に対する一切の質疑を終結した次第であります。

その後、直ちに付託議案について意見の調整を図りました結果、報告第1号、第2号及び第5号につきましては、いずれも意見の一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって認定議決、その他の議案、すなわち、報告第3号、第4号及び第6号につきましては、いずれも全会一致をもって認定議決と決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案審査の経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

（拍手）

### 1. 討 論

○議長富原亮君 これより討論に入ります。

討論の通告がありますので、発言を許します。

丸山はるみ君。

○25番丸山はるみ君（登壇・拍手）（発言する者あり）私は、日本共産党北海道議会議員団を代表して、報告第1号、第2号及び第5号に対し、不認定の立場から討論を行います。

報告第1号、令和4年度——2022年度北海道一般会計及び特別会計歳入歳出決算に関する件についてです。

決算に不認定とする理由の第1は、道民生活を守る取組が不十分であることです。

昨年から、物価、燃料の高騰が続き、コロナ禍の長期化の影響もあり、道民生活は大きな影響を受けています。

道は、福祉灯油の拡充など、コロナ禍における価格高騰緊急経済対策に取り組んできた一方、広範な道民を対象にした直接支援は乏しく、十分な対策が打ち出せたとはいえない、また、道独自の一般財源措置がほとんど行われなかったことも問題です。

事業執行の見直しを行い、財源の捻出をさらに行うべきであったと強く指摘します。

第2に、新エネ普及拡大の取組が不十分であることです。

企業局からの拠出を受けて実施している新エネルギー導入加速化基金は、昨年度までの6年間で約58億8387万円が執行されました。

基金を活用して実施したエネルギー地産地消スタートアップ支援事業は、延べ114市町村での利用がありましたが、コーディネート支援から導入につながった事例は1例のみであり、道としての取組は極めて不十分です。

第3に、観光振興予算の執行が不明瞭であることです。

道の観光振興予算は、その多くが観光振興機構の委託事業として実施されていますが、観光振興機構の負担金事業における昨年度の委託契約件数は、78件全てがプロポーザル方式で行われており、そのうち1社のみが応募した契約は39件と、5割を超え、100%入札は47.4%であるということが明らかになりました。

観光振興機構に、事実上、丸投げの状態であることは、これまでの議会議論でも指摘してきましたが、契約の在り方とともに、道と機構との関係においても早期に是正を行わなければなりません。

また、政策決定過程における公文書が存在していないなどの問題も明らかになりました。明瞭な執行状況とは到底言えません。

第4に、半導体企業誘致の説明責任が果たされていないことです。

ラピダス社誘致のための支出として、知事トップセールスの出張費用を含む約58万円を計上しました。

しかし、ラピダス社の社長に、知事自らプレゼンするという初めての試みを行うにもかかわらず、道庁における意思決定過程を記した公文書を作成していなかったことが明らかになりました。

公文書がなければ、道としての説明責任を果たせず、事業そのものの意義が成り立ちません。

本委員会の知事総括質疑において、ラピダス社が製造する次世代半導体が、軍事、防衛産業に利用される可能性があることを知事は否定しませんでした。

ゼロカーボン基金を活用して、ゼロカーボンに資するとしたこれまでの説明に全く相反することです。

戦争は最大の地球環境破壊であり、ゼロカーボンと両立するものではなく、道民への説明を欠いた事業の執行は到底認められません。

よって、報告第1号は不認定とするべきです。

次に、報告第2号、令和4年度——2022年度北海道公共下水道事業会計決算に関する件です。

昨年度実績では、有収水量が前年度比22.9%増と、大幅な増加を見せているものの、収入には反映できず、経営改善に向けて返済の取組を一層強化する必要があります。

また、これまでも指摘をしてきましたが、一般会計からの長期借入金の未返済額は約132億円にも上っており、返済開始のめども計画も立っておらず、認定できる内容ではありません。

よって、報告第2号は不認定といたします。

最後に、報告第5号、令和4年度——2022年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件です。

昨年度、バイオマス発電企業の誘致などにより、契約水量では目標を上回る伸びが見られるものの、元の目標が低いこともあり、根本的な経営改善には至っていません。さらなる改善に向けて、目標を引き上げるべきです。

また、一般会計からの長期借入金は2005年度を最後に返済されておられません。2025年度で営業運転における一般会計からの借入れは不要になるとの答弁がありましたが、未返済額が42億9200万円にも上る借入金の返済計画は、いまだ立てられておられません。

このような状況では、道民の理解は到底得られるものではありません。

よって、報告第5号は不認定といたします。

以上、討論を終わります。（拍手）（発言する者あり）

○議長富原亮君 以上で通告の討論は終わりました。

これをもって討論を終結いたします。

日程第4のうち、報告第1号、第2号及び第5号を問題といたします。

これより採決いたします。

この採決は起立によります。

本件に関する委員長報告は、いずれも認定議決であります。

本件を委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長富原亮君 起立多数であります。

よって、本件は、いずれもそのように決定いたしました。

日程第4のうち、報告第3号、第4号及び第6号を問題といたします。

本件に関する委員長報告は、いずれも認定議決であります。

お諮りいたします。

別に御発言もなければ、本件は委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長富原亮君 御異議なしと認めます。

よって、本件は、いずれもそのように決定いたしました。

#### 1. 日程第5、意見案第1号

○議長富原亮君 日程第5、意見案第1号を議題といたします。

お諮りいたします。

本件は、提出者の説明及び委員会付託を省略することにいたしたいと思えます。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長富原亮君 御異議なしと認めます。

よって、本件はそのように決定いたしました。

お諮りいたします。

別に御発言もなければ、本件は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長富原亮君 御異議なしと認めます。

よって、本件は原案のとおり可決されました。

#### 1. 日程第6、請願第11号

##### 1. 請願の産炭地域振興・エネルギー調査特別委員会付託

○議長富原亮君 日程第6、請願第11号を議題といたします。

---

請願第11号 「福島第一原発のALPS処理水の海洋放出を直ちに中止し、処理水減容の抜本的対策を求める意見書」の提出を求める件  
(上の請願は巻末請願・陳情の部に掲載する)

---

○議長富原亮君 お諮りいたします。

本件を産炭地域振興・エネルギー調査特別委員会に付託することにいたしたいと思いを。  
これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長富原亮君 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

#### 1. 休会の決定

○議長富原亮君 お諮りいたします。

議案等調査のため、11月29日から11月30日まで本会議を休会することにいたしたいと思いを。  
す。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長富原亮君 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

以上をもって本日の日程は終了いたしました。

12月1日の議事日程は当日御通知いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午前10時24分散会